〈平成28年省エネルギー基準対応〉

JIS Q 17050-1に基づく自己適合宣言書(附属書)

作成日:2023年3月31日 YKK AP株式会社

自己適合宣言書番号 APS0002 附属書番号 APF0217 発行者の名称 YKK AP株式会社 作成日 2023年3月31日 改訂日 商品 M30 顔認証自動ドア 仕様 断熱タイプ 外引込み

■本附属書について

- ・本附属書は、対応する自己適合宣言書とあわせてご使用ください。
- ・本書の記載内容は、製品の仕様変更等によって、予告なく修正する場合があります。あらかじめご了承ください。
- 修正となった場合には、自己適合宣言書の更新によって公開いたしますので、常に最新情報をご参照ください。
- ■開口部の熱貫流率について
- ・試験値は、JIS A 4710に基づく試験により測定された代表試験体の熱貫流率です。
- ・計算値は、JIS A 2102-1に基づいて一般社団法人 リビングアメニティ協会が運営するWindEye(開口部の熱性能評価プログラム)により計算された代表試験体の熱貫流率です。
 ・簡易的評価は、国立研究開発法人 建築研究所ホームページ内「平成28年省エネルギー基準に準拠したエネルギー消費性能の評価に関する技術情報(住宅)」の「熱貫流率及び線熱貫流率」に基づき計算された熱貫流率の値です。
 ・建具とガラスの組み合わせは、一般社団法人 日本サッシ協会ホームページ内「建具とガラスの組み合わせ」による開口部の熱貫流率表(住宅用ドアの簡易的評価)に基づく開口部の熱貫流率です。
- ・代表試験体は、国立研究開発法人 建築研究所ホームページ内「平成28年省エネルギー基準に準拠したエネルギー消費性能の評価に関する技術情報(住宅)」の「窓、ドアの熱貫流率に関し試験体と同等の性能を

有すると認められる評価品の範囲を定める基準」に基づき選定したものです。

■開口部の日射熱取得率について ・国立研究開発法人 建築研究所ホームページ内「平成28年省エネルギー基準に準拠したエネルギー消費性能の評価に関する技術情報(住宅)」に基づき計算された日射熱取得率です。

対象製品		ガラスの仕様		開口部の熱貫流率 [W/㎡K]		開口部の 日射熱取得率 η		= 4 5 4 1 +	= 1 /	簡易的	建具と	
		ガラス中央部 の 熱貫流率	適用ガラス	付属部材 無し	風除室 あり	付属部材 無し	風除室 あり	一試験値	計算値	評価	建具と ガラスの 組み合わせ	
M30 顔認証自動ドア 断熱タイプ 外引込み	■ドア本体:採光無											
	【ナチュラル】 N09N	外引込み	_		1.91	1.61	0.06	0.05				
	【シンプル】 F08N			_							•	
	【シック】 C10N											
	【エレガント】 E14N											
	■ドア本体:採光付	外引込み	1.2	Low-E3+G15+型4	2.34	1.90	0.08	0.06			•	
	【シック】 C02N、C03N、C06N											
	■ドア本体:採光付										 	
	【ナチュラル】 N05N、N06N、N12N	外引込み	1.4	Low-E3+A15+型4	2.36	1.91	0.08	0.06				
	【シンプル】 F03N、F13N										•	
	【シック】 C07N、C09N、C12N											
	【エレガント】 E01N、E09N											
	■ドア本体:採光付(フレームレス) 【ナチュラル】	外引込み	1.4	Low-E3+A15+型4	2.34	1.90	0.08	0.06			•	
	NO3N											
	【シンプル】 F02N、F07N											
	【シック】 C01N、C13N											